



JQA-2631 (本社工場)
JQA-EM3548 (本社工場)

UV Protective Clear Coating

窯業系サイディングボード専用クリヤー
弱溶剤系2液型シリコン樹脂塗料

パワーアシストクリヤー

窯業系サイディングボード専用クリヤー

パワーアシストクリヤー

紫外線から住宅を守る!

近年、住宅の外壁はサイディングボードが主流となっています。中でも、自然石やレンガ、南欧風など高い意匠性はサイディングボードの大きな魅力です。

外壁は紫外線や風雨により次第に劣化していきます。定期的に高品質な塗料で塗り替えることが建物のメンテナンスにおいてとても大切なことです。パワーアシストクリヤーは、サイディングボードの美しいデザインをより長く維持し大切な家を守ります。

10年以内の塗り替えをおすすめします。



家を建ててから年数が浅いから、うちのサイディングボードはまだまだ綺麗。塗り替えには早いと思うんだけど…

超耐久性

塗装により、新築当時の**美しい色・意匠性**を**長持ち**させます。

塗装しない場合

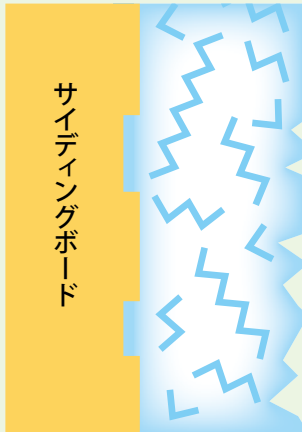
紫外線や雨で
どんどん劣化する



サイディングボード

一般的な塗料で塗装 (アクリル樹脂塗料)

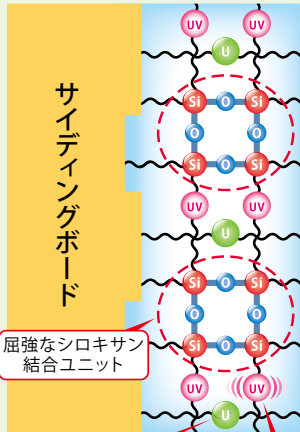
塗装が弱いため
分解しやすい



サイディングボード

パワーアシストクリヤー

屈強なシリコン樹脂クリヤー塗装
が抜群の耐久性を發揮!



10年経過してもこの光沢!



そろそろ塗替えの時期。でも今の
サイディングボードのデザインが気に入ってるから
今のままのデザインを残したいんだけど…



意匠性をそのままに**高級感、質感**をよみがえらせます。

※劣化や汚染のある基材に塗布しても美観の回復は見込めませんのでご注意ください。

クリヤー塗装なら下地の意匠性が活きる!



つやつやとした仕上がりに



底艶のある仕上がりに



色つきの塗料では
せっかくの意匠性が失われ
のっぺりした仕上がりに…

施工事例



表面が劣化し始めた
サイディングボードの
色が鮮やかに蘇り、
質感も復活。



抜群の耐久性!

外壁にダメージを与える紫外線を
パワーアシストクリヤーが大幅にカットします!

紫外線
透過率テスト



① 紫外線強度計でガラス面を透過した紫外線を測定すると。



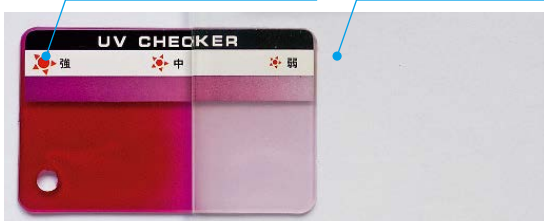
② パワーアシストクリヤーを塗装すると。

なんと
ほぼ0に!

UVカット効果実証テスト

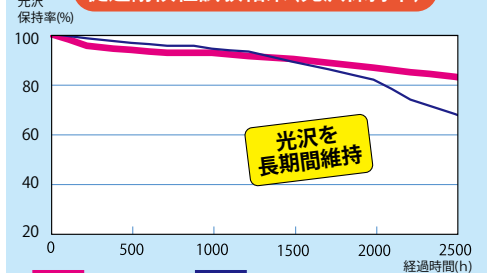
UVチェッカー
紫外線を感知すると変色します。

パワーアシストクリヤーを塗装したガラス板



太陽光の下でUVチェッカーの上にパワーアシストクリヤーを塗装したガラス板を置いたとき、ほとんど変色しませんでした。このことから優れた紫外線遮断効果(UVカット)を発揮することが証明されました。

促進耐候性試験結果 (光沢保持率)



試験機: サンシャインウェザーメーター カーボンアーク灯式

●荷姿

パワーアシストクリヤー(艶有、3分艶有) 16kg(主剤14kg 硬化剤2kg)・4kg(主剤3.5kg 硬化剤0.5kg)
RMシンナー 16L・4L ※シンナーは通年、A(春秋型)をご使用ください。

パワーアシストクリヤー 塗装仕様

■艶有の塗装仕様

	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗分量 (kg/m ² /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m ² /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)	
								工程内	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。								
上塗り	パワーアシストクリヤー 艶有 主剤 14kg 硬化剤 2kg	0~13% (RMシンナー)	ハケ・ローラー エアレス	0.12~0.14	2	57~67	7~9h	4h以上 10日以内	16h以上

※塗分量は条件により増減します。塗分量にシンナーは含まれていません。

■3分艶有の塗装仕様

	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗分量 (kg/m ² /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m ² /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)	
								工程内	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。								
上塗り	パワーアシストクリヤー 3分艶有 主剤 14kg 硬化剤 2kg	0~13% (RMシンナー)	ハケ・ローラー エアレス	0.12~0.14	2	57~67	7~9h	4h以上 10日以内	16h以上

※塗分量は条件により増減します。塗分量にシンナーは含まれていません。

【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたるとう艶引けを起こすおそれがあります。
2. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目粗しを行って再度塗装してください。
3. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
4. 水洗後、1日以上乾燥を行ってください。
5. 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
6. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
7. ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取ってください。乾いたときは、ラッカーシンナーでふき取ってください。
8. 酸洗を行う場合は、水をかけた後に行い、その後の水洗は念入りに行ってください。
9. 著しく劣化したサイディング材へ塗装すると意匠性が劣るため、塗装は避けてください。
10. 1回目の上塗り塗装時に、吸い込みが大きく、塗料が表面に残らない場合は、再度塗装してください。(合計3回塗りて仕上げてください)
11. 目地部が深い場合は、目地ハケなどで塗装してください。
12. 目地部に塗料がたまった場合や、たれが発生した場合はむら切りしてください。
13. 塗装時には換気口等に養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないようにしてください。
14. 塗装や塗料取り扱い時には、換気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
15. 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
16. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
17. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
18. 塗装による臭気や、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
19. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意】

1. サイディング材の種類(フッ素、光触媒、無機コート等)によっては密着不良を起こす可能性があります。あらかじめ試験塗装を行って密着性を確認してください。
2. 釘頭はRMプライマーおよびマイルドU等を塗装し、その後塗装してください。
3. 3分艶有は被塗物の形状や素地の状態、色相などによって艶が違って見える場合があります。
4. 高圧洗浄後、汚れが残っている場合はパワーアシストクリヤーを塗装しても汚れが除去されることはありません。
5. 見本板または試し塗りをして仕上がりをご確認ください。
6. 使用前には充分攪拌してください。
7. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
8. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください(専用シンナーをご使用ください)。
9. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
10. 2液型塗料は、塗料毎の可使時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
11. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
12. 硬化剤はイソシアネートを含有しているため、蒸気、ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分ご注意ください。
13. 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは溶剤系専用のものをご使用ください。
14. 溶剤系塗料に使用したハケ・ローラーの洗浄には、ラッカーシンナーまたはアクリルシンナーをご使用ください。
15. 2液型塗料は主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
16. 材料の保管・取扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

本社 〒532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90
TEL(06)6391-3151 FAX(06)6393-1101
大阪支店 TEL(06)6391-3401 FAX(06)6391-3456
西日本開発部 TEL(06)6391-3401 FAX(06)6391-3456
東京支店 TEL(03)3865-8177 FAX(03)3865-8760
東日本開発部 TEL(03)3865-8177 FAX(03)3865-8760
北関東支店 TEL(048)563-0355 FAX(048)563-5124
中部支店 TEL(0568)85-3551 FAX(0568)85-3556
広島支店 TEL(082)284-6556 FAX(082)283-0017
福岡支店 TEL(092)611-5731 FAX(092)621-2301
仙台営業所 TEL(022)782-6770 FAX(022)232-6871
札幌営業所 TEL(011)824-5711 FAX(011)824-6464
工場 本社・埼玉・中部・広島・福岡

塗料に関するご質問、お問い合わせは



塗料相談室 ☎ 06-6391-3039

営業時間 午前9:00~12:00 午後1:00~3:00

特約店